

大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版N C A A）

創設事業（大学スポーツ振興の推進）

成果報告書

【立命館大学】

委託期間：平成 29 年 10 月 3 日～平成 30 年 3 月 30 日

平成 30 年 3 月

I 事業概要

委託事業名：大学横断的かつ競技横断的統括組織（日本版NCAA）創設事業（大学スポーツ振興の推進）

委託期間：平成29年10月3日～平成30年3月30日

受託機関：立命館大学

II 内 容

1. スポーツ分野における統括業務の実施状況について

立命館大学は、1980年代に定めた「スポーツの大衆化と高度化の統一」の理念を継承し、スポーツ強化を含めたスポーツ振興全体を担う新たなセクションとして、1998年に「スポーツ強化センター」を設置した。本センターは、大学内の部局として位置づけられ、「スポーツと学業の両立」を通じた学生の成長を優先的な価値観とし、勝利至上主義に偏ることなく、下記の5点を大学におけるスポーツ強化の意義として確認した。設置以来、現在に至るまで学内の運動部の統括や学生アスリートの管理、スポーツ施設の運営管理、スポーツを通じた大学ブランド力の向上など、学内のスポーツ分野を一体的に統括する業務を行っている。なお、現在は立命館大学の3つのキャンパス（衣笠キャンパス（京都府）、びわこ・くさつキャンパス（滋賀県）、大阪いばらきキャンパス（大阪府））におけるスポーツ分野の課外自主活動を支援している。

<スポーツ強化の意義>

- ・スポーツに参加する学生のより高度な成長の場の形成
- ・社会の発展に資する優れた人材の輩出
- ・学園関係者（学生、校友、父母）の帰属意識・愛校心の醸成
- ・スポーツを通じた地域との交流強化
- ・スポーツ分野での活躍を通じた学園の社会的な総合評価の一層の向上

なお、スポーツ強化センターを構成する職員組織として、スポーツ強化オフィスを設置しており、学内では以下の通り業務を規定している。

<スポーツ強化オフィスの業務> ※学校法人立命館館則施行細則より抜粋

- ・競技スポーツの強化と支援
- ・スポーツ振興に関わる調査・企画・実施
- ・スポーツ分野の課外活動の支援・指導
- ・スポーツ分野に関わる奨学金の運用
- ・スポーツ施設の管理運営

また、これらの業務を担う組織構成は次の通りとしている。

＜スポーツ強化センターの体制（2017年度）＞

副学長（学生・キャリア担当）1名

学生部長（スポーツ振興担当）1名

学生部副部長（スポーツ振興担当）1名

学生部次長1名

スポーツ強化オフィス課長1名

専任事務職員（課長補佐1名、課員3名）

事務契約職員5名

なお、2014年4月に制定した「立命館スポーツ宣言」の理念の下、スポーツ強化センターは体育会に所属する50の公認団体のマネジメントの一部を担う役割を負っている。具体には、各団体の部長（本学専任教員）・副部長（本学専任職員）・監督・指導者の任命・委嘱、重点強化クラブ（7クラブ）の中期計画（4ヵ年）および単年度計画に対しての決裁をおこなう等により機能を整理している。スポーツ強化オフィスの担う具体的な業務内容は次に記載する。

＜スポーツ強化オフィスの業務項目＞

- ・競技ごとの特性等を踏まえた支援制度（助成金・奨学金・表彰制度等）の立案および運用
- ・体育会所属学生の学修環境の把握と学業との両立支援の取り組み
- ・安全、安心な環境づくり（ハラスメント防止や会計の基礎知識習得等を目的にセミナーを実施）
- ・競技ごとのキャリア形成環境の把握、支援の充実
- ・スポーツ選抜入試における広報活動
- ・地域や企業のニーズ把握に基づく、体育会学生と社会の接点づくり
- ・体育施設や寮等の維持管理・改善
- ・研究シーズの把握およびそれを活用したスポーツ科学によるクラブ支援
- ・体育会クラブの広報、学内外のアウトリーチ活動
- ・OB・OG会との連携、立命館スポーツフェロー（OB・OG会統括組織）との連携
- ・体育会クラブにおける組織マネジメントに関する助言や指導等

2. 大学スポーツ・アドミニストレーター配置の状況について

(1) 大学スポーツ・アドミニストレーターに指定した者に求めた資質・能力等

スポーツ振興の事業化を推進するために、以下の業務経験を有する者を前提とし、対象

者の選定を行った。

＜大学スポーツ・アドミニストレーターに求める業務経験＞

- ・スポーツ分野のリエゾン活動展開のため、リサーチアドミニストレーターの担う産学連携、研究推進業務に関して3年以上の実務経験を有する者
- ・学業との両立支援の枠組み提案への助言をするため、大学教務事務の実務経験を有する者
- ・事業継続性の観点から、3年以上継続した雇用を保障できる者

選定の結果、以下の本学職員を大学スポーツ・アドミニストレーターとして、スポーツ強化オフィスに配置することにより、本事業の推進を担わせることとした。

＜大学スポーツ・アドミニストレーター（立命館大学、以下 SA）＞

立命館大学スポーツ強化オフィス 齊藤富一（さいとう とみかず）

（2）具体的に行った業務

「体育会活動の見える化」に重点を置き、次項に示す全ての業務において、所期の目標達成のため事業推進の中心的役割を担った。

3. 大学スポーツにおける先進的モデルの企画・立案及び実施状況について

（1）大学間の連携、大学横断的組織として関西コンソーシアムの検討

2016年度に大学スポーツ振興関西地区検討会が有志教員により発足され、大学横断的、競技横断的な取り組みを推進できる地域版の大学スポーツコンソーシアムの設立に向けて、その円滑な運営体制や課題設定が検討されてきた。

本学 SA は、大学スポーツ振興関西地区検討会に参加し、議論状況の理解や関係者とのネットワーク形成を行った。さらには、大学スポーツコンソーシアムの設立に向けて検討がなされている幹事会にも参加、2017年10月以降の取り組みとしては、第3回幹事会（10月15日）・第4回幹事会（10月19日）に関係者が出席し、幹事校参加者（14大学、うち教員18名、職員10名）とともに大学スポーツコンソーシアム設置趣意書作成をテーマとし、所管する課題設定や団体の理念等について意見交換を行った。その上で、11月26日に開催された第7回大学スポーツ振興関西地区検討会では、関西圏の大学の他、企業や学生連盟等、計60名の参加者により、2018年4月に大学スポーツコンソーシアムを設立する意思決定がなされた。その後、計4回の幹事会（12/28、1/28、2/17、3/18）を経て、事業計画案に加えて、一般社団法人の法人格取得や組織名称（「大学スポーツコンソーシアム KANSAI（略称：KCAA）」）、事務局機能（当面の間、立命館大学が担う）などを確認した。3/1には正会員校（大学）を対象とした説明会を実施し、21大学が参加、うち7校が加盟申込を行い、設立時点では18校より正会員校に参画する意向が示された。設立記念シンポジウム（3/25）には、有料（3,000円、学生無料）にも関わらず、150名を超える申し込みがあり多くの方に KCAA の設立、事業の可能性を伝えることができた。

<大学スポーツコンソーシアム KANSAI の正会員募集説明会の様子>



<大学スポーツコンソーシアム KANSAI 設立記念シンポジウムの様子>



【参考資料】

資料 1. 大学スポーツコンソーシアム KANSAI 創設趣意書・役員体制

資料 2. 大学スポーツコンソーシアム KANSAI の概要

参考. 掲載された新聞記事一覧 (2017年12月7日 産経新聞 (大阪・夕刊6面))
(2018年1月30日 毎日新聞 (朝刊19面))
(2018年2月16日 読売新聞 (大阪・朝刊18面))
(2018年3月15日 産経新聞 (大阪・朝刊19面))
(2018年3月18日 中日新聞 (朝刊11面))
(2018年3月26日 読売新聞 (大阪朝刊29面)) その他

(2) 地域社会との接点

①地域貢献活動 (10/15、クリーンキャンペーン、定期清掃)

本学体育会のメンバーを中心に構成される原谷AVA (アスリート・ボランティア・アソシエーション、以下AVA) の実施した地域貢献活動に関して支援を行った。AVAが実際に取り組んだ内容は以下の通り。

<10月15日、原谷弁財天本神輿巡航参加および清掃キャンペーン>

京都市右京区原谷地区で神輿祭りが実施され、サッカー部、準硬式野球部、ボクシング部、男女ソフトボール部の部員でもあるAVAのメンバー13人の学生が参加。祭り当日だけの参加ではなく、約一か月前から原谷弁財天の清掃、鳥居の建て替えをAVAが主体となり行った。AVAが、地域の秋祭りでの神輿巡航に協力しようと、原谷総合グラウンドで活動する体育会各部に参加の呼びかけを実施。お祭りで学生たちは地域の方と共に神輿を担いだ。参加した学生からは「町内のあちこちで住民の方が手を振り、声を掛けてくださり、地域との一体感を強く感じることができました」との手応えが聞かれた。定期清掃やそうめん流し、原谷夏祭り、今回の神輿祭りを通して確実に地域の方との距離は近づけることができ、学生と地域とが相互に理解しあえる環境づくりに寄与した。これまで年配の方が多くを占めていた神輿巡礼祭りに大学生が参加したことで、年配の方への負担が軽減されただけでなく、祭り自体に活気が溢れたことが成果となる。(以下、写真4点参照)

<AVAが参加した神輿巡礼祭りの様子>





11月12日にはAVAのメンバーが、金閣学区の地域住民、少年野球チーム、市役所の職員、京都市北区長と共にクリーンキャンペーンに参加した。

以上の活動によって地域と大学の距離感は近づいたと思われる。今まで認知されていなかった、立命館体育会の活動を地域の方は気にかけてくれるようになり、応援の声も活動中に多々もらえるように変化した。また、学生側も今まで関わりのなかった地域の方と関わる事で、自分たちが地域にも支えられているという事を再確認することができた。

その他、建設予定の公民館、地域の掲示板、回覧板等に立命館体育会クラブの競技成績や試合内容を掲載する提案を地域の方から受け、実行することができた。

②陸上記録会の実施

2017年11月12日（第1回）および2018年3月17日（第2回）にBKCのクインスタジアムにて開催されたRitsumeikan Athletics Games（陸上競技記録会）の運営支援を行った。本記録会は、体育会男子・女子陸上競技部（OB・OG含む）を中心に総勢約100名によって運営された。開催にあたっては、陸上競技部の学生中心にワーキンググループを立ち上げ、念入りに準備が進められた。第1回記録会では事前エントリーを行った小学生、高校生、大学生・一般と幅広い年齢層の選手約100名が参加、第2回記録会では約250名が参加し100mや5000m、走り幅跳びなど、公認競技9種の競技種目が行われた。

運営スタッフとして参加した陸上競技部部員やスポーツ健康科学部学生は、競技の進行や競技成績の記録に加え、選手の誘導やアンケート回収など多岐に渡り運営に携わり、学生を主体とした運営の可能性を確認することができた。これらの専門性の団体内の継承が今後の課題となる。また、第1回大会では地域住民にひらかれた企画とするため、草津市の「チャレンジスポーツデー」との合同開催をすることとした。30名程度の地域の小学生が参加したことで、記録会開催前の試行機会となったこと、競技者以外の方が記録会を観戦したこと、などが成果となった。

<チャレンジスポーツデーの様子（左）、競技会の様子（右）>



<部員による終了後総括の様子（左）、部員による会場設営の様子（右）>



（3）両立支援（プログラムの運営）

本学では、約7割の学生が多様な課外自主活動を行い、世界や全国トップレベルなど、高い水準で活動している団体が多い。その中で、①正課と課外の両立に困難を抱えている学生への支援、②クラブ・サークル等の団体の組織運営やマネジメントへの支援、の充実が課題であった。体育会の活動については、「立命館スポーツ宣言」（2014年4月）を制定し（体育会からは「学生アスリートの誓い」（同年2月）が提案された）、スポーツを学生の成長の場とみなすとともに、「学業ガイドライン」を定め、公式戦出場のための単位基準の運用、スポーツ・文芸特別選抜入試合格者への入学前・入学後支援など、学業とスポーツの両立に努める方針を明確にしてきた。学生一人ひとりが自分に応じた目標を設定し、最大限の「成長」を遂げられるよう学びの主体として「自立」していくための学生支援としてSSP（Student Success Program）を2017年度より実施している。2017年10月3日以降に予定したセミナーを次ページに示す。SSP講習会は、他のキャンパス参加者を含め、のべ51名の参加者となった。（衣笠キャンパス34名、びわこ・くさつキャンパス8名、大阪いばらきキャンパス9名）

SSP Student Success Program

SSP講習会

スムーズに単位を取得したいあなたへ

12:15~12:50
お昼休み
@F108

学修スキルを学べる講習会です。
ちょっとしたコツを掴んで、
後期セメスターを乗り越えましょう！
誰でも自由参加、ランチ持参OK！

前期セメスターを振り返ろう
10月3日(火)

- 前期セメスターを振り返ろう
- セメスターを乗り切る3つのポイント

後期セメスターの授業のポイントを知ろう
10月10日(火)

- 後期の授業内容を知ろう
- オンラインシラバスを読み解こう

タイムスケジュールを管理しよう
10月17日(火)

- 今のスケジュールを把握しよう
- 空き時間を見つけて、有効活用

ToDoリストを使いこなそう
10月24日(火)

- 今週のToDoリストつくってみよう
- 具体的な実行計画を立てる

お問い合わせ・個別予約は 電話 (衣笠) 075-465-8174 (BKC・OIC) 077-561-3951

学生オフィス (衣笠) SSPコーディネーター渡邊 (BKC・OIC) SSPコーディネーター石田

メール ssp1@st.ritsumei.ac.jp http://www.ritsumei.ac.jp/ssp/

HP



まだ間に合う！レポートの構造を理解して書けるようになるう！

レポートの書き方講座

とっかかりがわからなくてギリギリまで
ほっとしてしまう人

基本をおさらいしたい人

レポートをなんとなく書いている人

引用の仕方でもいつも戸惑う...

講師：中島梓先生
立命館大学文学研究科後期課程修了。
経済学部・映像学部・理工学部のライティング科目を担当されています。

各回とも18:00 - 19:00

日時 ● BKC 1/9 (火) P108
場所 ● OIC 1/11 (木) AS262
● 衣笠 1/12 (金) 諒友館825

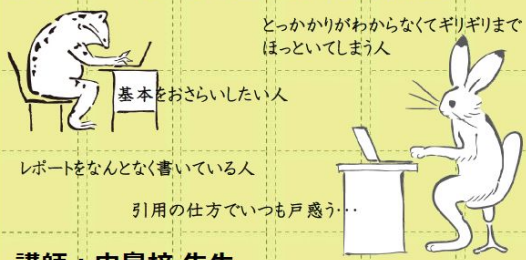

どなたでも参加できます

講座終了後に個別の質問にも応じます
見てもらいたいレポートがあれば持参してください

予約不要

お問い合わせは Student Success Program

学生オフィス TEL 衣笠：075-465-8174
SSPコーディネーター渡邊 BKC・OIC：077-561-3951
BKC・OIC MAIL：ssp1@st.ritsumei.ac.jp
SSPコーディネーター石田 URL：http://www.ritsumei.ac.jp/ssp/

2018年度入学予定者約200名を対象に、大学の学びに備えるため必要な（不足している）能力を実感するとともに、将来の目標を立て、入学前また入学後に学業に自ら取り組む意欲を喚起することを目的に「プレ・エントランス立命館デー（2018年12月17日）」および「入学前合宿（2018年3月14日～15日）」を開催した。「入学前合宿」では、入学を直前に控えた学生がどのような学生生活を送り、何を獲得するかを「生活面」「正課」「課外」の3つの柱として考えることに主眼が置かれた。スポーツ分野で特に秀でた力を持つ参加者が、3つの柱を意識しながら、学生生活を組み立てることによって、何かに偏ることが無く、バランス良く力を身につけながら幅広い視野や友人関係を構築していくことを獲得目標とした。

合宿は5つのワーク（以下5点）で構成されており、全てのワークをこなし、最終的に自身の夢や目標を他者に発表するという内容となる。

1. 人生の折れ線グラフ：自分を知ろう
2. セルフチェックシートを通じた自己分析
3. 入学学部について理解を深めよう
4. 先輩から学ぶ目標の設定と到達方法の検討
5. 自分の夢・目標とその到達方法の発表

なお、合宿にはファシリテーターを複数名配置し、先輩学生として、アイスブレイクやグループワークを一緒に取り組む形式とした。ファシリテーターには、体育会学生だけでなく、一般学生も複数名配置し、体育会に閉じた活動とならないように工夫を行っている。

<入学前合宿（2018年3月14日～15日）講義の様子>



<入学前合宿（2018年3月14日～15日）グループワークの様子>



【参考】SSP（Student Success Program）の概要

・自立支援

ー入学前支援プログラム：体育会入部予定者への入学準備プログラム

ー入学後支援プログラム：目標設定と目標に向けた計画づくり、時間やタスクの管理、学びの基礎スキル等の習得のためのプログラム

ーアセスメント&コーディネート：正課と課外に取り組む学生が自らの特性を理解し、自己認識・自己理解の上で主体的に活動を行う、支援を活用することができることを目指した支援

・成長支援

- ーキャリア養成：卒業後のキャリアを見通し、大学での学びと課外自主活動の目標、課外自主活動で得た力をどのようにキャリアで活かしていくかを学ぶプログラム
- ーリーダー養成：課外自主活動団体をけん引するリーダーに対し、リーダーシップ、マネジメント、計画策定や予算管理など、求められる知識・技能を学ぶプログラム
- ー地域・社会貢献：学生が日常活動している競技・テーマを通じて地域・貢献活動に取り組み、社会との関わりを学ぶプログラム
- ー国際交流：海外の大学等との交流を通して、競技力・活動水準の向上を図るとともに、異文化理解と広い視野を養うプログラム

(4) スポーツ活動の見える化、応援文化醸成の取り組み

選手個人のファンを増やすことを企図して以下の企画を実施した。選手個人の人となりを知ってもらう企画など、学生自身が工夫をして2つのイベントが行なわれた。

①秋季立同戦壮行会企画（企画：立命館大学応援団）10月12日開催

硬式野球部による同志社大学との伝統の一戦「立同戦」の壮行会を応援団が今年初めて企画し、衣笠キャンパスで実施した。直前にユニバーシアードで日本代表として参加し金メダルを持ち帰った選手など、世界で活躍する学生が身近にいることを一般学生に知ってもらうことを目的とした。一般学生は300名程度参加し、期待以上の成果となった。なお、当日は大学放送局がニコニコ生放送とYouTubeLiveで生中継を行った。



②KG 戦直前トークイベント企画（企画：Whose House? Rits House!）10月9日開催

学生団体である「Whose House? Rits House!」が企画し、アメリカンフットボール部とのトークイベントを BKC で開催した。本企画は、例年関西学院大学戦（以下、KG 戦）に向けての広報が直前となっていたことから、リーグ戦の中盤である 10 月上旬に KG 戦の歴史や選手個々の想いについてトークイベントを通じて伝えることで、リーグ最終戦となる関西学院大学との対戦に向けて学内を盛り上げていくことを目的としたイベントとした。今年初めて開催したトークイベントには、アメリカンフットボール部の幹部 4 名が登壇、一問一答形式によるトークは好評で、一般学生は 200 名程度参加した。



以上